

まなびや

第61号

1月25日

発行

那珂川町立福岡女子商業高等学校 企画広報課編集



新年あけましておめでとうございます。さあ、三学期が始まりました。この学期は、一年のまとめの時期にもなります。どんなふうにもとめをしていくか。それはみなさんの気持ちひとつにかかっています。学業面でも、生活面でも、今まで積み重ねたものを無駄にすることなくそれぞれが身につけられたら素晴らしいですね。

生徒会始動

新年明けましておめでとうございます。今年はいよいよ生徒会の活動が本格的に始まります。まだ慣れないことも多々ありますが、前生徒会のように素晴らしい活動ができるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。皆さんの意見をできるだけ多く取り入れて、より良い女子商になるようにしていきたいと思います。

(生徒会長 稗田 充紀)



2年生が1月10日から3泊4日で北海道富良野スキー場に修学旅行に行ってきました。天気にも

恵まれ、2年生の皆さんにとって最高の思い出になりました。「楽しかった」「滑れるようになった」「インストラクターが優しくかった」「もう、最高」などの声もたくさん聞きました。

2年生の『修学旅行のしおり』より校長先生の巻頭言の一部を紹介しましょう。

思い出に残る修学旅行は「信頼」の上に成り立ちます。その信頼を成立させるのが「One

for All All for One」(ひとりみんなのために、みんなはひとりのために)の精神です。

皆さんにとって、40歳になっても、50歳になっても昨日の出来事のように話題として出てくる「修学旅行」にするためには、一人ひとりが集団のルールを守り、この「One...」の精神を忘れない自主的な行動が切に望まれます。

「One for All All for one」の精神は、他の学校生活においても大切な精神です。2年生だけでなく1・3年生もぜひ知っておいてほしい言葉ですね。



初めての経験ばかり

スキー研修旅行はとても充実したものでした。私はスキーが初めてで最初は立っているのがやっとでした。まっすぐ滑る練習をしたり、ターンの練習をしたり、基本的な練習を少しずつ距離を伸ばしていきました。2日目からリフトに乗り上行きました。上からは下が見えなかったのととても怖かったです。滑り出して止まらなくなる時もありました。慣れてくると楽しくすいすい滑れるようになりました。ナイタースキーもあり、夜景がとてもきれいでした。北海道では初めてのものばかりでとてもいい経験ができました。また北海道に行く機会があれば、富良野にスキーをしに行きたいと思えます。

(2年6組 塚本 奈央)

雪はサラサラ、キラキラ

私は北海道に行く前までは、そこまで修学旅行を楽しみにしていませんでした。北海道は寒そうだし、スキーも3日程度では上達しないのではないかと思ったからです。しかし、飛行機の中から見えた北海道はとても幻想的で、遠くから見ただけでも福岡の雪とは違うことが分かり、私はその時から修学旅行が楽しみになりました。私が北海道に行って一番驚いたことは雪です。空港で見た雪もサラサラしていましたが、スキー場で見た雪はもっとサラサラしてました。さらにリフトで上の方に行くと、これまでとは全く違う雪がありました。少し他の所より雪が積もっているところに行くと、膝の辺りまで埋まったり、光に当たると雪がキラキラしていたり、今まで見たことがないものばかりで、とても感動しました。スキーはインストラクターの方が優しく教えてくれたおかげでたくさんの方が上手に滑れるようになりました。この修学旅行は私にとってとても良い思い出になりました。(2年3組 熊谷未津紀)



さて、今回も女子商マルシェ店長の感想を紹介します。

ハートプラン店長 山口 萌乃(1-5)

店長になって人をまとめ、動かすことの大変さを学びました。店長の仕事は自分が思っていたより多くて大変でしたが、今考えると良い経験になったと思います。自分の考えだけでなくみんなの意見も聞きながら進めていくことは難しかったです。今回のマルシェでは仲間の大切さも改めて学ぶことができました。店長をして良かったです。



花と香りの店店長 末松 舞(2-1)

今回のマルシェでは前日や当日に体調を崩して休んでしまう人もいましたが、残りのメンバーで楽しくマルシェができて良かったです。また、最初は大変なことも多かったけど、みんなが協力してくれたのでとても助かりました。次のマルシェで最後になりますが、次も楽しくみんなでやりたいと思います。



シェシュクール店長 寺崎 萌(2-2)

今回のマルシェで初めて店長をしました。店員のみんなに何か説明や指示を出したりするのが難しく戸惑うこともたくさんありましたが、マルシェが近付いてくるにつれて店員のみんなが手伝ってくれて準備を終えることができました。当日は接客も大変でしたが、一番難しかったのはショーケースの中からケーキを取り出して箱に入れる作業でした。今回は店員ではなく店長という立場でマルシェに参加し貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。



昨年12月25日のクリスマスはみなさんはどう過ごしましたか?吹奏楽部はこんな素敵な演奏会を開きました。

子供たちとクリスマス演奏会

私たち吹奏楽部は12月25日に那珂川保育園でクリスマス演奏会を開きました。この演奏会は、吹奏楽部にとって初めての活動で、演奏会に向けて園児たちに折り紙のプレゼントを作ったり、楽しんで聴いてもらうために色々な出し物を考えました。演奏会は約40分間でした。園児たちは100人以上いて定期演奏会のときよりも多い人数だったのでとても驚き緊張しました。演奏はクリスマスの曲が中心で、園児たちは知っている曲は一緒に大きな声で歌ったり、手拍子をしてくれました。楽器紹介

をするととても驚き、クイズをするとすぐに答えてくれて、みんな楽しんでくれました。私も目の前で楽しそうに聴いてくれている園児たちの姿を見て感激しました。今回のクリスマス演奏会を通して、演奏することの楽しさを実感することができました。今年も今回の経験を活かしているいろいろな行事で楽しく演奏していきたいと思います。(吹奏楽部部長 阿賀 清美)



2月に予餞会があります。

3年生は毎年やっている行事ですが、いざ自分たちが送られる番になってみると、ひときわ違った感動があります。楽しみにしててください。

1・2年生は、3年生に対して在校生としてのまとまりを見せる最後の機会になります。感謝の気持ちを表現するのは、皆さんのこれからの活躍の決意を表明することでもあります。予餞会の企画・取り組みしっかりとやってください。